



2017年(H29)度は、こんな環境活動を行いました。

資源回収	
内容	生徒会、PTA、学校の三者により、学校区域を対象に紙資源を中心として実施する。
実施日	7/17(海の日)
主体	生徒会、PTA、学校の三者共催
回収範囲	学校通学区域内の各家庭

アルミ缶、牛乳パック等回収	
内容	・年3回牛乳パックを回収し、回収業者を通しNGOカトマンドゥに苗木代金として送る。ネパールの植樹に役立たせている。 ・生徒会活動により、夏季休業明け一週間に渡り、家庭で集めたアルミ缶を登校時に持参して回収する。
実施日	・年3回 6、10、2月 ・8～9月
主体	・生徒会緑化委員会 ・生徒会環境委員会
回収範囲	生徒各家庭

ゴミ分別	
内容	日常的に、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみ、紙資源の分別(古紙、新聞紙、段ボール)の分別を行って廃棄、回収している。
実施日	清掃時、紙資源については毎週金曜日
主体	生徒会清美委員会、環境委員会
分別の種類	・ゴミ類(不燃ごみ、可燃ごみ、プラスチックごみ) ・紙資源(古紙、新聞紙、段ボール)

清掃活動	
内容	・教育活動の3つの重点目標の内の一つとして「磨く無言清掃」を位置づけ、毎日の清掃活動を通して自分と向き合い、自分自身の心を磨く時間となるようにしている。
実施日	・毎日
主体	・全校生徒と全教職員
活動範囲	・学校敷地内全範囲(校舎、体育館、校庭)

花壇整備	
内容	プランター200鉢とは別に、学校のサツキの周りに、花壇として花を植える。 苗は善光寺花回廊に参加して、いただいたものを利用。
実施日	5～11月
主体	生徒会緑化委員会
場所	学校敷地内のサツキ園の周り
栽培種類	ペチュニアやコリウス

緑のカーテン	
内容	特別支援学級の学習の一つとして、ゴーヤを緑のカーテンとして育てる。
実施日	6月～10月
主体	特別支援学級生徒
場所	特別支援教室の南窓(中庭)
感想	窓から緑が見えることは、生徒達の落ち着きにも役だっているような感じもある。 育ったゴーヤを、家に持ち帰って食べたり、職員にあげたりしてコミュニケーションを育てるのにも効果があった。 野菜作りと一緒に、水やりを行う習慣が身についた。